

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、男性で長寿世界一となった方をはじめ、多くの高齢者が元気に暮らしておられ、百歳以上の人口比率が全国平均の3倍という全国に誇りうる「長寿のまち」である。この「長寿のまち」という特長をさらに発展させ、健康で長生きをするという「健康大長寿」のまちをめざすため、市民主体の健康づくりを進めるとともに、誰もが健やかでいきがいのある暮らしが送れる環境づくりをする必要がある。</p> <p>また、地域内のつながりが希薄化しつつある中、他方で支援や介護が必要な方は増加傾向にあり、市民がお互いに支えあい、助けあいながら共に生きる社会の構築が必要となってきた。</p> <p>地域住民においても自治会、NPO等を通じ、安心ネットワークの形成に関する取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>いつまでも健康で、誰もが安心して暮らせる環境づくりのため、市民相互の支え合いのこころを醸成していくとともに、保健・医療・福祉の充実、地域福祉活動への支援を強化し、福祉社会の基盤となるユニバーサルデザインとノーマライゼーションのまちづくりを進め、生きる喜びを共有できる健やかな安心都市の実現を目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	103,120	本年度事業費（千円）	27,858	交付金額（千円）	7,812		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	生きがい活動支援通所事業	交付対象事業	家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、デイサービスセンターなどで趣味活動、日常動作訓練、健康相談等を行う。			高齢者を対象に、デイサービスセンターなどで趣味活動、日常動作訓練、健康相談などを行った。（延べ6,435回）		
	高齢者安心生活支援事業	交付対象事業	無医地区、辺地、過疎地域など的高齢者を対象とした保健師の訪問健康指導により、介護予防及び健康長寿を推進する。			無医地区、辺地、過疎地域など的高齢者を対象とした保健師の訪問健康指導を行った。（42地区へ訪問）		
	介護支援・見守りサポーター活動事業	関連事業	特別養護老人ホーム等でボランティア活動をした65歳以上の高齢者に対し交付金を交付する。			特別養護老人ホーム等でボランティア活動をした65歳以上の高齢者に対し交付金を交付した。（登録人数21人）		
	百歳バンザイ！！推進市町村連絡協議会運営事業	関連事業	全国37市町村で構成する協議会において、心から老いや長寿を喜び楽しむことのできる健康長寿社会の実現をめざす。			百歳バンザイ！！推進市町村連絡協議会により全国へ向けた情報発信を行った。		
	健康づくり推進員活動事業	交付対象事業	地域における健康づくりのリーダーとして推進員を委嘱し、運動教室や検診受診啓発キャンペーン活動などを行う。			健康づくり推進員を委嘱し、運動教室や検診受診啓発キャンペーン活動などを行った。（推進員232人）		
	在宅健康管理システム事業	交付対象事業	専用の自動血圧計及び携帯端末機を貸与し、血圧などの測定データの送受信による在宅での健康管理を行う。			専用の自動血圧計及び携帯端末機を貸与し、在宅での健康管理を行った。（利用者192人）		
	自殺予防対策フリーアクセス設置事業	関連事業	自殺予防対策として、「京都いのちの電話」、「こころの相談電話」への京丹後市内からのフリーアクセス電話を設置する。			自殺予防対策として、「京都いのちの電話」、「こころの相談電話」への京丹後市内からのフリーアクセス電話を設置した。（利用件数561件）		
	自殺のない社会づくり市区町村会の設立	関連事業	京丹後市の呼び掛けで、全国123自治体が自殺対策の知恵を出し合う「自殺のない社会づくり市区町村会」を設立した。			京丹後市の呼び掛けで、全国123自治体が自殺対策の知恵を出し合う「自殺のない社会づくり市区町村会」を設立した。		
	自殺予防対策講演会開催事業	関連事業	自殺予防対策を強化するため、自殺予防対策講演会を開催する。			自殺予防対策を強化するため、自殺予防対策講演会を開催した。（参加者157人）		
	ゲートキーパー研修会開催事業	関連事業	精神科医及び「京都いのちの電話」の専属相談員を講師として研修会を開催する。			精神科医及び「京都いのちの電話」の専属相談員を講師として研修会を開催した。（参加者130人）		
	心の相談事業	関連事業	臨床心理士による心の相談事業を実施する。			精神的に不安定な方を対象に臨床心理士がカウンセリングを行い精神的な健康づくりを支援した。		
健康相談・指導事業	関連事業	健康教育・健康相談を実施する。			生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に健康教育・健康相談を実施した。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
市町村 実施事業	総合検診事業	関連事業	健康診査・特定健康診査・がん検診を同時に実施する。		健康診査・特定健康診査・がん検診を同時に実施した。（受診者延べ33,922人）			
	福祉人材育成事業	交付対象事業	支えあいや助けあいの意識を高め、地域福祉を担う人材を育成するための講演会を開催する。		支えあいや助けあいの意識を高め、地域福祉を担う人材を育成するための講演会を開催した。（参加者90人）			
	災害時要援護者支援事業	交付対象事業	災害時の避難支援プランの全体計画に基づき、避難行動要支援者登録制度を設け、継続的な台帳管理や要支援者の情報共有を図る。		災害時の避難支援プランの全体計画に基づき、避難行動要支援者登録制度を設け、継続的な台帳管理や要支援者の情報共有を図った。（登録者2,117人）			
	支え合いの地域づくり推進委員会事業	関連事業	支えあい、助けあって暮らせる地域づくりをするため、市民が中心となって地域福祉計画の具体策を検討する。		人権を尊重し、人との出会いを大切に「支えあいの人づくり」について検討した。（推進委員9人）			
	地域福祉計画策定事業	関連事業	平成19年3月に策定した地域福祉計画について、平成24年度からの5か年の次期計画を策定する。		平成19年3月に策定した地域福祉計画について、平成24年度からの5か年の次期計画を策定した。（1,500部）			
	京丹後市社会福祉大会開催事業	関連事業	民生児童委員、ボランティア、社会福祉協議会等の福祉関係者が一堂に会した社会福祉大会を開催する。		民生児童委員、ボランティア、社会福祉協議会等の福祉関係者が一堂に会した社会福祉大会を開催した。			
住民 協働 事業	老人クラブ活動事業	関連事業	老人クラブの運営のほか、友愛訪問活動事業、健康づくり事業、啓発・広報事業などを行う。		老人クラブの運営のほか、友愛訪問活動事業、健康づくり事業、啓発・広報事業などを行った。（101クラブ）			
	シルバー人材センター運営事業補助金	関連事業	定年退職者に仕事を提供し、生きがいや社会参加を促進するシルバー人材センター事業を支援する。		定年退職者等に仕事を提供し、生きがいや社会参加を促進するシルバー人材センター事業を支援した。			
	シンポジウム「健康長寿」開催事業	関連事業	平成23年11月6日に京都府丹後文化会館において、シンポジウム「健康長寿」を開催する。		平成23年11月6日に京都府丹後文化会館において、シンポジウム「健康長寿」を開催した。			
	福祉有償運送事業費補助金	関連事業	京丹後市社会福祉協議会が実施する高齢者及び障害者を対象とした移送サービス事業を支援する。		京丹後市社会福祉協議会が実施する高齢者及び障害者を対象とした移送サービス事業を支援した。（利用者381人）			
住民が 取り組む 事業	寺子屋学習	関連事業	本市の百歳長寿のイメージアップを図るため、長寿をテーマとした講演会を開催する。					
	健康増進サークル活動	関連事業	市民グループが運動習慣を身につけるサークル活動を実施する。					
	高齢者・障害者のための福祉有償運送事業を知ってもらい、有効に利用してもらう事業	関連事業	福祉有償運送を知ってもらうためのパンフレットやチラシの作成によるPR活動を行う。					
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	心身ともに元気な高齢者の増加をめざす			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)			
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
成果指標②	成果指標の目標数値	生きがい活動支援通所利用回数 H22 週1回→H26 週2回		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		週1回		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	介護保険の対象とならない相当に虚弱で一定の支援が必要な高齢者を対象に、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等の各種サービスを継続提供したことによる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
成果指標③	成果指標の目標数値	高齢者訪問地区数 H22 46地区→H26 100地区（対象全地区）		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		95地区		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	無医地区、辺地、過疎地域などから、年度ごとに計画的に訪問地区を設定しているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
成果指標④	成果指標の目標数値	介護支援・見守りサポーター登録人数 H22 0人→H26 80人		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		21人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	介護支援・見守りサポーターの周知啓発に努めたため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
成果指標⑤	成果指標の目標数値	認知症サポーター数 H20 1,733人→H26 4,000人		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		5,395人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	認知症に関する知識の普及・啓発のため認知症サポーター養成講座等を実施しているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
成果指標⑥	成果指標の目標数値	健康づくり推進員数 H22 232人→H26 300人（概ね100世帯に1人）		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		232人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱しているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
成果指標⑦	成果指標の目標数値	特定健診受診率 H22 40.7%→H26 65.0%		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		37.7% (未集計)		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	未確定であり最終受診率は上昇する見込み。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標⑧	成果指標の目標数値	在宅健康管理システム利用台数 H22 160台→H26 195台		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		192台		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	血圧が高い市民を対象に在宅健康管理システムの利用促進を図ったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標⑨	成果指標の目標数値	運動習慣を持つ人の増加をめざす		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標⑩	成果指標の目標数値	自殺者の根絶をめざす		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標⑪	成果指標の目標数値	避難行動要支援者登録者数 H22 2,197人→H26 2,320人		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		2,117人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	災害時の避難支援を要する65歳以上の高齢者や障害者の登録数が減少したため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名		安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
成果指標 ⑫	成果指標の目標数値	地域福祉を担うボランティア数 H20 2,885人→H26 3,500人			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		3,434人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地域福祉活動事業に賛同するボランティアが年々増加傾向にあるため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>いつまでも健康で、誰もが安心して暮らせる環境づくりのため、市民相互の支え合いのこころを醸成していくとともに、保健・医療・福祉の充実、地域福祉活動への支援を強化し、福祉社会の基盤となるユニバーサルデザインとノーマライゼーションのまちづくりを進め、生きる喜びを共有できる健やかな安心都市の実現を図った。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>								
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果								
	府と市町村等との連携に資する成果								
	住民の自治意識を高める成果	市民の中から委嘱した健康づくり推進員が、地域における健康づくりの担い手としての意識を持って活動することで、地域住民にも健康長寿のまちづくりの重要性を啓蒙することができた。							
	リーディング・モデル成果								
	広域的波及成果	自殺予防には、各関係機関との連携は不可欠であり、自殺ゼロ実現推進協議会を中心とした広域的な支援を進めることができた。							
	行財政改革に資する成果	心身ともに元気な高齢者が増えることで、増加の一方を迎える高齢者の医療費抑制に繋げる一歩となった。							
	その他の成果	高齢者一人一人の健康状態や生活状況を把握し、必要な人に必要な対応をすることができた。高齢者本人にも健康管理の意識付けができ、疾病・介護の予防啓発にもなった。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
---------	------------------	------	---------	-----	--------	----------	----

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。